

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一、木村 初

2021年1月15日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

コララン錠 2.5mg・5mg (循環器内科)【院外限定】

薬効： HCN チャネル遮断薬

申請理由： 慢性心不全患者で左室駆出率が低下した症例に対し、上乘せすることで予後改善を認めるため。

採用中止薬剤： なし

エクロックゲル 5% (皮膚科)【院外限定】

薬効： 原発性腋窩多汗症治療剤

申請理由： 日本初の原発性腋窩多汗症に対する外用薬で、現行の患者負担のかかる治療法に変わる新たな治療法として期待できる。

採用中止薬剤： なし

ビーソフテンクリーム 0.3% (皮膚科)【院外限定】

薬効： 血行促進・皮膚保湿剤

申請理由： 現在、ヘパリン類似物質は油性タイプ（ヘパリン類似物質油性クリーム 0.3%）のみ採用。油性タイプ以外を使用するときが必要

採用中止薬剤： なし

② 治験について

1) 治験課題名：

血液透析施行中の高リン血症患者を対象としたKHK7791の第III相プラセボ対照二重盲検ランダム化並行群間比較試験

2) 治験の内容（対象・投与期間等）：

血液透析施行中の高リン血症患者を対象に、KHK7791を8週間反復投与したときの血清リン濃度の変化量をプラセボと比較することで、KHK7791の有効性を検証する。

3) 治験責任医師：西川 慶一郎

4) 治験期間：契約締結日～西暦 2022年 1月 31日

③ リュープリン製剤の供給について

リュープリン製剤 供給状況	
製品名及び効能・効果	供給状況
リュープリン注射用キット1.88mg 【適応】 子宮内膜症、過多月経、下腹痛、腰痛及び貧血等を伴う子宮筋腫における筋腫核の縮小及び症状の改善、中枢性思春期早発症	出荷調整中
リュープリン注射用キット3.75mg 【適応】 子宮内膜症、過多月経、下腹痛、腰痛及び貧血等を伴う子宮筋腫における筋腫核の縮小及び症状の改善、閉経前乳癌、前立腺癌、中枢性思春期早発症	出荷調整中
リュープリンSR 注射用キット11.25mg 【適応】 前立腺癌、閉経前乳癌、球脊髄性筋萎縮症の進行抑制	出荷調整中
リュープリンPRO 注射用キット22.5mg 【適応】 前立腺癌、閉経前乳癌	出荷調整中 (優先生産)
リュープリン注射用1.88mg 【適応】 子宮内膜症、過多月経、下腹痛、腰痛及び貧血等を伴う子宮筋腫における筋腫核の縮小及び症状の改善、中枢性思春期早発症	出荷調整中
リュープリン注射用3.75mg 【適応】 子宮内膜症、過多月経、下腹痛、腰痛及び貧血等を伴う子宮筋腫における筋腫核の縮小及び症状の改善、閉経前乳癌、前立腺癌、中枢性思春期早発症	出荷調整中

以上